



# 山野辺

〒088-0603 釧路郡釧路町別保南2丁目44番地1 TEL:0154-62-2019

## 《 校 訓 》 未来を拓く強い意志 《学校教育目標》

- 自主性をもち学び続ける生徒
- 自らを律し広い心をもつ生徒
- 心身を鍛え人生を切り拓く生徒



## 『「がんばる木こり」から ～学ぶとは～ 』

校長 藤田 崇 充

いま、3年生は受験生として、人生の分かれ目に直面して自己実現へ向けてのハードルを超えようとしています。これからの中学生に必要な学びを考えていたときに「がんばる木こり」という寓話が目にとまりましたので紹介します。

昔々、一人の木こりが材木屋に仕事をもらいに行きました。申し分のない条件だったので、木こりは仕事を引き受けることにしました。

最初の日、木こりは親方から斧を一本手渡され、割り当てを示された。男はやる気満々で森に入った。その日は一日で18本の木を切り倒した。「よくやった！ この調子で頼むぞ！」親方の言葉に励まされた男は、明日はもっと頑張ろうと誓って早めに床に入った。次の日、男は誰よりも早く起き、森に向かった。ところが、その日は努力も虚しく15本が精一杯だった。「疲れているに違いない」そう考えた木こりは、日暮れとともに寝床に入った。夜明けとともに目を覚ました男は「今日は何としても18本の記録を超えるぞ」と自分を奮い立たせて家を出た。ところが、その日は18本どころかその半分も切り倒せなかった。翌日は7本、その翌日は5本そして最後には夕方になっても2本目の木と格闘していた。

何と言われるだろうとビクビクしながらも、木こりは親方に正直に報告した。「これでも力の限りやっていますのです。」親方は彼にこう尋ねた。「最後に斧を研いだのはいつだ？」

男は答えた。「斧を研ぐ？研いでいる時間はありませんでした。何せ木を切るのに精一杯でしたから」

この木こりは、斧で木を切るという仕事に精一杯で、「斧を研ぐ」という基本的な仕事を疎かにしてしまいました。いくら頑丈で鋭い斧でも刃先は少しずつ劣化していきます。劣化すると作業効率は下がり、自分がケガをする原因にもなります。木こりは当然そんなことは知っていたであろうに、忙しさにまかせて「斧を研ぐ」という大事な仕事をおざなりにしたという話です。

この話を普通の仕事をしている人に当てはめてみると「斧を研ぐ」とは何を意味するのか？ ひとつは「身体の調子を整えること」です。身体のあらゆる機能は20代をピークに衰え始めます。これは自然現象なので仕方ありませんが、運動を習慣にすることで衰えの速度を緩やかにすることはできます。もうひとつは「頭脳を鍛えること」です。頭脳は銀食器と同じで磨かなければ薄ぼんやりと曇っていきます。知力を高い水準に保つためには学び続けることが大切です。目先の仕事をこなすだけで精一杯になってはいないでしょうか。どんなに仕事が忙しくても「斧を研ぐ」習慣をもっていないとそのうちに頭脳もくたびれてしまいます。人生の達人は物事を白黒はっきりと分けることはあまりしないそうです。仕事と学びを分けず、渾然一体となったような状況に身を置くように努める。つまり、仕事をしながら学び、学びながら仕事をするというような意識でいることが大切に行っているようです。

学生が学ぶ理由を社会人として働いていく上で必要な能力を身につけるためとするならば、社会人が学ぶ理由とは何でしょう。自分に足りない能力を補うため、転職に備えて等が考えられます。目標も方法も明確です。しかし、これからの変化の激しい時代に生きる今の中学生たちにとってはもう少し違う視点も必要な気がします。ひとつは新しいアイデアを生み出していくため。もうひとつは、仕事の自由度（人生の自由度）をあげるためです。ここでいう自由とは選択肢をたくさん持っていることであり、その自由度は学習量に比例しそうです。学習の方向性としては、「なりたい自分」を広げること⇒興味や関心の幅を広げていくこと、「できる自分」を広げること⇒自分の能力を高めていくことの二つです。

多くの人は興味や関心と自分の能力の重なったところで実際に自分の仕事をしています。重なっている面積が広ければ広いほど選択肢が多くなるし、逆に重なっている面積が小さければ小さいほど選択肢が少なくなります。

学びを継続させるポイントは自分の能力を高めるためだけでなく、興味や関心を広げることです。ヒトという生物は、元来、知的興味や関心の高い生物です。このことから子ども達の可能性を広げるために興味や関心をより高めるような学びの機会を増やしていきたいと思えます。

日	曜	主 な 行 事
1	土	東高校卒業式
2	日	
3	月	全校朝会 公立入試事前指導
4	火	公立高校学力検査日 1・2年後期期末テスト①
5	水	公立高校面接日 1・2年後期期末テスト②
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	3年生送別球技大会
11	火	公立高校追検査日 ALT 評議会（対面式）
12	水	卒業式全体練習
13	木	卒業式総練習 得通発行
14	金	第78回卒業証書授与式 ※給食なし
15	土	
16	日	
17	月	公立高校合格発表 ※給食なし
18	火	ALT
19	水	小学校卒業式
20	木	春分の日
21	金	大掃除
22	土	
23	日	
24	月	修了式 ※給食なし
25	火	学年末休業開始
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	学年末休業終了

※発行日時点の予定になりますので、変更が生じた場合はご了承下さい。

## 生活リズムチェックの結果から

12月に全校生徒を対象に実施した「生活リズムチェックシート」の結果をお伝えします。

### 【学校全体の傾向】

#### ①生活リズム

大部分の生徒は、一定のリズムで生活している。睡眠時間も7時間半～8時間と、しっかりとれている生徒が多い。極端な生活リズム（朝方に就寝、極端に睡眠時間が多い、少ない等）の生徒も夏の調査と比較して変化は少ないが、日の出の時間が遅いということもあるのか全体的に起床時間が若干遅くなっている。

#### ②家庭学習の状況（提出率や学習時間、学習内容等）

家庭学習の時間は全校平均で約1時間25分程度。夏と比較し全学年で家庭学習の時間が増加しているが、3学年の取り組み時間が高校受験が迫ってきている状況の中、やや物足りなく感じてしまう。

家庭学習の提出率は、夏同様、委員会での点検項目「チャレンジノート」として常時チェック、その結果が日々掲示、必要に応じて呼びかけがされるなどの活動により、全体的には高い水準を維持していると考えられる。

#### ③メディアの時間（趣味や遊びで利用する時間）

メディアの時間については、依然として学習時間以上の利用状況ではあるものの、全学年で夏と比較してほぼ変化は見られない。

#### ④その他

毎日朝食をとる回数は夏と同様、良好と言える。運動時間、読書時間ともに低調のままほぼ変化はない。家でのお手伝いについては、「毎日お手伝いをする」3年生の割合の向上が見られた。

### 【「成果○」と「課題●」】

○学習時間について、各学級・教科担任、委員会活動等の働きかけ、学習に対する意識に高まり等により、全体的に増加している状況が見られる。

○「スマホ防犯教室」などの実施を受け、SNS等の使用時間についてある程度歯止めがかかっている様子があり、学校で把握しているSNSがらみのトラブルもない状況が続いている。

●生徒たちの紙媒体離れが進んでいる現状がある。電子機器から意識的に離れ、新聞を読んだり、読書に親しんだりする機会を増やしていくような働きかけを一層充実させていく必要がある。

●冬季に入り、部活動からの引退、部活動の時間短縮や休み時間にグラウンドを使えないなどの理由もあり、運動時間は少なめである。意識して体を動かす習慣をつけさせたり、時間を確保するなどの対策が課題である。

●長期欠席の生徒、遅刻・欠席が多い生徒、学校に来てから体調不良を訴える生徒などの生活習慣には、やはり極端な生活リズムの乱れが散見される場合があり、今後も個別の指導を継続していく必要がある。

### 【今後の取組計画】

よりよい生活習慣を確立するため、関係する委員会の活動、生徒会の取り組み、保護者への働きかけ等を今後も継続していきたい。

## スクールカウンセラー～3月の来校予定

《伊藤 真理SC》	《村上沙由里SC》	
なし	3月 7日(金) 14:30～16:30	3月18日(火) 13:00～15:00

※3月は上記の日程で来校予定ですので、お子さんのことで話を聞いてもらいたいことや相談がありましたら、学校（担任や教頭）までお問い合わせ下さい。

## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から

6月に2年生を対象に実施した調査結果をお伝えします。

種目(単位)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走B(秒)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(点)	合計点(点)	
男子	全国	28.95	25.95	44.47	51.51	410.69	7.99	197.18	20.57	41.86
	本校	<b>29.44</b>	<b>26.38</b>	<b>40.89</b>	<b>51.89</b>	<b>576.44</b>	<b>8.22</b>	<b>190.22</b>	<b>20.00</b>	<b>33.88</b>
女子	全国	23.18	21.56	46.47	45.65	309.02	8.96	166.32	12.40	47.37
	本校	<b>20.50</b>	<b>19.88</b>	<b>41.63</b>	<b>47.14</b>	<b>376.29</b>	<b>9.20</b>	<b>165.00</b>	<b>12.86</b>	<b>40.50</b>

○男女とも反復横跳びが全国平均を若干上回っており、敏捷性に改善が見られました。逆に持久走は男女とも全国平均を大きく下回っており、課題が見られます。

○昨年度の男子はすべての種目で全国平均を下回っていましたが、今年度は3種目で若干ですが全国平均を上回るなど、学校としての改善が見られます。

○女子はハンドボール投げで全国平均を若干上回っており、日常のバレーボールやバドミントンの動作が、良い結果となって現れたと考えられます。

○この結果を受け、運動に親しみ意欲を高めるような指導と環境づくりを、体育の授業を中心に進めていきます。合わせて昼休みには体育館やグラウンドで運動を奨励するなど、体を動かす機会を作っていますので、家庭でも意図的に運動の機会を作っていただければと思います。

## 部活動・コンクール等結果

### 【バドミントン部】

◎第27回釧根地区中学生学年別バドミントン大会 ～2月8日(土) 釧路町体育館～

1年男子シングルス	3回戦進出	藤野 広翔	、	田村 陽
	2回戦敗退	石井 陽織	、	佐藤 咲涼
	1回戦敗退	矢本 心彪		
2年男子シングルス	2回戦敗退	安彦 虎琉	、	三浦 拓真
	1回戦敗退	井口 航輝	、	上田 泰雅
				河野 愛斗
2年男子ダブルス	2回戦敗退	安彦 虎琉・井口 航輝		
1年女子シングルス	3回戦進出	和田 夏実		
	2回戦敗退	北 愛絵瑠	、	鈴木あかり



### 【バレーボール部】(別保・遠矢・釧路共栄・浜中茶内合同)

◎中学生バレーボール選手権大会 ～2月8日(土) ウインドヒルくしろスーパーアリーナ～

2回戦	○ 2-0	対 幣舞
準決勝	○ 2-1	対 庶路学園・北・鳥取西
決勝	● 0-2	対 鳥取 ⇒ 準優勝



### 【第21回全日本長ぐつアイスホッケー選手権大会 女子の部】

～2月1日(土)、2日(日) 釧路町運動公園アイスホッケー場～

◎別保OPEC(釧路町中学生女子代表)

予選Bブロック	⇨	順位トーナメント
1勝1分1敗(3位)		0勝2敗(4位)



2日目のメンバーで、試合終了後にパチリ!